



やるきほんききさき 木佐木

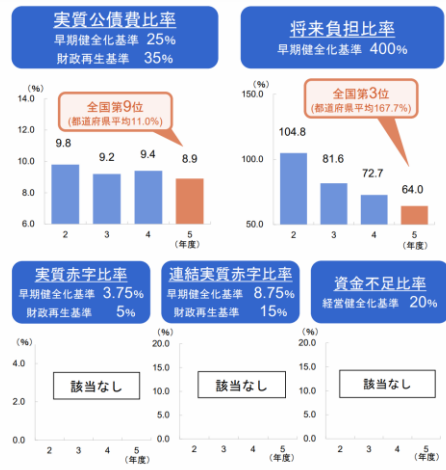
神奈川県議会議員
日本共産党

2025.2.19
木佐木たまたさ news
発行：党横浜北東地区委員会
横浜市鶴見区潮田 3-147-6
TEL：045-511-1021
Profile
▶1984年山口市出身
▶鶴見区馬場在住
▶神奈川大学法学部卒
▶よこはま健康友の会会長
▶横浜東民商顧問

2025年度予算審議が始まりました

＜条例案等の内訳＞

区分	令和7年度関係	令和6年度関係	計
条例の制定	2件	—	2件
条例の廃止	—	1件	1件
条例の改正	24件	12件	36件
工事請負契約等の締結	—	7件	7件
特定事業契約の変更	—	2件	2件
指定管理者の指定の変更	2件	—	2件
市町負担金	1件	2件	3件
その他	3件	3件	6件
計	32件	27件	59件
(参考) 予算関係	当初予算 22件	2月補正 17件	39件
合計	54件	44件	98件



(参考)各種財政指標における全国順位

区分	5年度決算(見込)	順位
財政力指数	0.83935	第3位
経常収支比率	96.0%	第36位
人口1人当たり 地方債現在高	333,754円	第2位
人口10万人当たり 職員数	588人	第1位

※ 本県調べ
※ 順位は、健全度の高い順(財政力指数は降順、その他の指標は昇順)
※ 参考指標は普通会計ベース
※ 職員数は令和5年4月1日現在
※ 経常収支比率=経常経費(充当一般財源+通常一般財源総額)×100

令和6年度10月「神奈川県の財政状況と起債運営」p9より

県民生活優先の財政運営を

2月12日から来年度予算などを審議する議会が始まりました。年度の節目ということもあり、年間を通して最も議案が多い議会となります。

過去2番目の予算規模4兆6600億超

今回提案された予算は、一般会計（基本的な行政サービスのためのもの）・特別会計（健康保険など特定事業のための独立した会計）・企業会計（水道など公営企業の収支を管理する会計）併せて4兆6600億円を超える規模となっています。

県税収入は、個人所得の増加や企業収益の増加などを背景に個人県民税や法人二税、地方消費税が増収となる見込みで前年度当初予算比で108.8%となっています。いわゆる県の借金も約1800億減少する見通しとなっています。財政が厳しい×2と知事や他会派は喧伝しますが、実は投資家などには財政は堅調だとアピールしているのが神奈川県なんです。

今問われているのは、財政の厳しさを強調して県民の切実な願いを脇に置いてしまうのか、正面から取り組むのかという県の姿勢です。物価高の中で、日々の暮らしを支える制度の拡充や負担軽減など住民と市町村の事業を支えることこそ県の責務だと言えます。

そんな中、前向きな変化もいくつか生まれています。県議団として繰り返し求めてきた教育費の負担軽減の一つとして、私立高校に通う生徒の学費補助の対象が少しではありますが、広げられようとしているほか、奨学金の対象も広げられる方向です。

しかし、東京都では親の所得制限はなく、学校が東京以外でも私立に通う高校生の学費実質無償化となります。神奈川でも、小さな一歩を足掛かりにお金の心配なく誰でも学べる制度へと前進させるために頑張りたいと思います。

③	私立高等学校等生徒学費補助の拡充 私立高校等に通う家庭の負担を軽減するため、授業料実質無償化の対象を年収約750万円未満の世帯まで拡充するとともに、多子世帯については、年収約910万円未満まで授業料の実質無償化を継続する。また、入学金について住民税非課税世帯までの実質無償化を継続する。	51億4,669万円
④	高等学校奨学金の拡充 学業等に意欲があつて学資の援助を必要とする生徒に対して、無利息で貸付けを行う高等学校奨学金について、所得制限（年収約910万円未満）を撤廃し、対象を拡充する。	10億円